

富山高等専門学校	開講年度	令和04年度(2022年度)	授業科目	情報基礎 I
科目基礎情報				
科目番号	0016	科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	国際ビジネス学科	対象学年	1	
開設期	前期	週時間数	2	
教科書/教材	30時間でマスターEXCEL, 30時間でマスターWORD			
担当教員	萩原 信吾			

到達目標

現代のIT活用能力として、EXCELやWORDの利用は必須ともいえる。WORDの活用については、タイピング、書式の設定のような基本的な機能の利活用などがあげられる。またEXCELについては、EXCELの基本機能にくわえ、関数の応用的な記述能力が求められる。本科目においてはこれら2つのアプリケーションにおいて、基本的な利用が可能な能力の習得を目標とする。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
タイピング能力	キーボードを見ずに、日本語・英語について円滑なタイピングができる。	キーボードを見るが、日本語について円滑なタイピングができる。	日本語・英語とともにキーボードを見て、かつ円滑なタイピングができない。
WORDの活用能力	WORDにおいて応用的な書式設定や、操作について理解し、WORDの概念構造を理解している。	WORDにおいて基本的な書式設定や、操作ができる。	WORDにおいて、基本的な書式設定や、操作ができない。
EXCELの活用能力	EXCELにおいて応用的な機能の利用や、関数の利用ができる。	EXCELにおいて基本的な機能の利用や、関数の利用ができる。	EXCELにおいて基本的な機能の利用や、関数の利用ができない。

学科の到達目標項目との関係

ディプロマポリシー 1

教育方法等

概要	学習目標(授業の狙い) [目標] エンジニアとして有効なコンピュータの基礎技能を身につける。 [概要] (1) タッチタイピングを習得する。 (2) WORDの基本機能を習得する。 (3) EXCELの基本機能を習得する。
授業の進め方・方法	教員単独による講義を実施する。 なお事前に行う準備学習として、以下の前回の講義の復習および予習を行ってから授業に臨むこと。 (授業外学習・事前) 授業内容を予習しておくこと (授業外学習・事後) 授業内容の復習を行うこと
注意点	各学生の評価は、期末試験および課題の点数で決定する。評価が50点以上で単位を認める。評価が50点に満たない場合は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた学生にあっては、その評価を50点とする。追認試験の評価方法および評価基準は本試験に準じる。

授業の属性・履修上の区分

<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用	<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業
--	--	--	---

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1週	オリエンテーション	授業計画、到達目標、評価方法が理解できる。
	2週	タッチタイピング (1)	ホームポジションを習得する。
	3週	タッチタイピング (2)	人差し指でタッチタイピングができる。
	4週	タッチタイピング (3)	人差し指と中指でタッチタイピングができる。
	5週	タッチタイピング (4)	人差し指、中指、薬指でタッチタイピングができる。
	6週	タッチタイピング (5)	すべての指を使ってタッチタイピングができる。
	7週	タッチタイピング (6)	日本語・英語でタッチタイピングができる。
	8週	タッチタイピング (7)	タッチタイピングの習得を確認する。
2ndQ	9週	WORDの活用 (1)	WORDのデータについて理解する。
	10週	WORDの活用 (2)	WORDの書式について理解する。
	11週	WORDの活用 (3)	WORDの基本機能について理解する。
	12週	EXCELの活用 (1)	EXCELの基本機能について理解する。
	13週	EXCELの活用 (2)	EXCELの関数について理解する。
	14週	EXCELの活用 (3)	EXCELの条件分岐について理解する。
	15週	期末試験	講義した内容について理解度を測るために期末試験を行う。
	16週	答案返却、解説等	本科目の成績について確認する。

モデルカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---